

科目番号	GA103				
科目名	森林経営				
担当教員	金子 哲朗(森林大学校長)、森林林業の事業者等				
科目区分	経済・法律等	人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	1年		授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数
授業時間数	15	コマ		( 30 単位時間 )	
実務経験のある教員による授業科目	—	左の実務経験の内容		—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○	左の実務経験の内容		森林組合や林業事業者等で森林経営に従事	
実務経験を活かした授業内容	外部講師として森林組合の理事や林業事業者の経営者を招き、実務経験に基づいた講話を通じて、森林経営の実践や、これからの森林経営に求められることなどを探求する。				

目的	持続可能な森林経営とは何かを学ぶ。
概要	森林経営の基礎となる事項について学ぶとともに、実際に林業経営を行っている森林組合や林業事業者等から現状と課題、対応策を学ぶ。
キーワード	①持続可能な森林経営とは ②森林経営の実践 ③これからの森林経営
関連する科目	森林政策
到達目標	○ 森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	○ 森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	○ 多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	テスト50%、出席・態度50%

授業計画	テーマ	講義内容
1～2	協同組合の取組	木材加工流通の現場、施設見学 川上と川下の連携、収益を生むための視点を学ぶ(ニーズを踏まえた工夫)
3～4	企業の森林経営	所有林の概要、経営目標、施業体系、作業の実施方法、販売先、課題と対策、収益を生むための視点を学ぶ(多様性)
5～6	林家の森林経営	所有林の概要、経営目標、施業体系、作業の実施方法、販売先、課題と対策、収益を生むための視点を学ぶ(多様性)
7～8	川下と連携した森林経営	川上と川下の連携、収益を生むための視点を学ぶ(ニーズを踏まえた工夫)
9～10	森林経営の基礎	森林経営を取り巻く情勢、林業の特殊性、林業経営の指導原則 近自然的林業、モニタリングプロセスの持続的森林経営、森林認証
11～12	生産森林組合の森林経営	生産森林組合の森林経営
13～14	公社の森林経営	分収造林の森林経営
15	まとめ・テスト	ふりかえり・森林・林業白書からのテスト

テキスト	
参考書	
関連する資格	

備考

この講義では、森林、林業業界の第一線で活躍されている森林組合や林業事業者の代表者等を外部講師に招いて授業を行います。